

表1 労働者の疾病による経済的損失に関連する要素(疾病そのものの要素)	
【発症要因：個人・内因性】	
・遺伝的要素(強い/弱い)	
・発症年齢(若年/高齢/年齢差無し)	
・性差(男性に多い/女性に多い/性差無し)	
【発症要因：環境・外因性】	
・労働環境の影響(うけやすい/うけにくい)	
・季節性(有り/無し)	
・業務起因性(強い/弱い)	
・発症場所(室内/屋外、国内/国外)	
【予防】	
・発症予防(可/不可)	
・重症化予防(可/不可)	
【症状】	
・症状の程度(全身/局所)	
・症状の出現頻度(頻回/稀、定期/不定期)	
【精密検査】	
・精密検査の要否(要/不要)	
・精密検査の手段(非侵襲的/侵襲的)	
・検査頻度・回数(多い/少ない)	
【治療】	
・治療法(有り/無し)	
・治療法の種類(温存/侵襲)	
・受診頻度(頻回/稀)	
・治療期間(長い/短い、反復)	
・治療による副作用(大きい/小さい)	
・薬による症状コントロールの可否(容易/困難)	
・処方薬/OTC薬	
・入院の要否(要/不要)	
【病気の発症と推移】	
・急性発症(有り/無し)	
・死亡率(高い/低い)	
・慢性化の可能性(高い/低い)	
・後遺障害(残りやすい/残りにくい)	
・将来の合併症(起こりやすい/起こりにくい)	
【周囲への影響】	
・2次感染(しやすい/しにくい)	
・周囲からの介助や支援の要否(要/不要)	